◆ 生活環境の保全に係る環境基準【生活環境項目・河川(湖沼を除く)】

類型	利用目的の 適応性	水素イオン濃度 (pH) —	生物化学的酸素 要求量(BOD) mg/L	浮遊物質(SS) mg/L	溶存酸素量(DO) mg/L	大腸菌数 CPU/100mL
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5～8.5	1以下	25以下	7.5以上	20以下
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5～8.5	2以下	25以下	7.5以上	300以下
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの	6.5～8.5	3以下	25以下	5以上	1000以下
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	6.5～8.5	5以下	50以下	5以上	—
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの	6.0～8.5	8以下	100以下	2以上	—
E	工業用水3級、環境保全	6.0～8.5	10以下	ゴミ等の浮遊が認められないこと	2以上	—

※ 基準値は日間平均値とする。

◆ 水生生物の保全に係る環境基準

類 型	水生生物の生息状況の適応性	全亜鉛 mg/L	ノニルフェノール mg/L	直鎖アルキル ベンゼンスルホン酸 及びその塩(LAS) mg/L
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03以下	0.001以下	0.03以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03以下	0.0006以下	0.02以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03以下	0.002以下	0.05以下
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03以下	0.002以下	0.04以下

※ 基準値は日間平均値とする。

※ 茨木市の水生生物に関する基準については、車作大橋、桑ノ原橋がA類型、他3地点についてはB類型です。